令和６年度以降の尾張旭市国民健康保険運営上の見通しについて

**資料３**

　１　令和５年度決算状況及び今後の見通し

　　　令和５年度決算において、歳入不足などの要因から、令和６年度の歳入を令和５年度歳入に繰り入れるという繰上充用を行い決算した。繰上充用を行ったことにより、令和６年度も大幅な歳入不足が見込まれることから、令和7年度以降の税率を大きく引き上げるとともに、一般会計からの繰入金による支援を受け、令和11年度には繰入額が０となるように財政の健全化を目指す。

２　本市国民健康保険の背景

　被保険者数、被保険者の所得が減少するも、県へ納める事業費納付金は増加している。

　　　被保険者減少の要因としては、被用者保険の適用拡大のほか、団塊世代の後期高齢者医療への移行がピークを迎えたことが大きく影響した。その中で、被用者保険の適用拡大の影響は、国保被保険者の内、所得のある現役世代が減少し低所得者層が残るという状況に拍車をかけ、被保険者数の減少や収納率の低下を招くこととなっている。（令和５年度歳入不足の主な要因）

　　　また、1人当たりの医療費は、高齢化の進展による疾病構造の変化や医療の高度化などの影響から増加傾向が続いており、事業費納付金の上昇につながっている。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 | 令和６年度 |
| ① 被保険者数 | 15,028人　 | 14,712人　 | 14,000人　 | 13,251人　 | 13,013人　 |
| ② 被保険者総所得 | 27,835,059千円　 | 27,339,931千円　 | 30,258,224千円　0 | 28,564,867千円　 | 27,595, 250千円　 |
| ③ 調定額 | 1,474,663千円　 | 1,456,664千円　 | 1,529,123千円　 | 1,501,131千円　 | 1,521,887千円　 |
| ④ 収納率 | 96.14％　0 | 96.70％　0 | 96.32％　 | 95.49％　 | ―　 |
| ⑤ 事業費納付金 | 2,041,859千円　 | 1,949,210千円　 | 2,007,312千円　 | 2,122,024千円　 | 2,209,883千円　 |
| ⑥ 一人当たり納付金 | 135,411円　0 | 132,639円　 | 139,466円　0 | 154,430円　0 | 167,822円　0 |
| ⑦ 一人当たり医療費 | 327,457円　 | 360,076円　0 | 383,923円　0 | 408,575円　0 | ―　 |

　　　※　被保険者数は令和５年度までは各年度３月末、令和６年度は８月末、所得、調定額は各年度7月の本算定時、事業費納付金は令和５年度までは決算額、令和６年度は本算定額の数値

３　国民健康保険特別会計における現状（令和５年度決算と令和６年度予算の執行について）

1. 令和５年度決算について

　　　　歳入不足に伴い、令和６年度予算からの繰上充用（4,600万円）を行うことで決算した。

　　　　　歳入不足の主な要因としては、国保税の調定額が、本算定決定時から約3％減少したことと、最終的な収納率が前年度比で0.83ポイント低下したことが挙げられる。

1. 令和６年度予算について

　　　　　令和４年度以降、事業費納付金が増加傾向にあり、国保税の急激な上昇が想定されたことから、物価高騰対策として国保税の負担緩和分（1億2,000万円）を令和6年度当初予算に計上していた。ところが、令和5年度決算において繰上充用を行ったことから、9月補正予算では、繰上充用に伴う精算（40,728千円）や前年度からの繰越金の皆減分（5,000万円）などに係る一般会計からの繰入金の追加を行った。

　　　　　また、繰上充用を行ったことにより、赤字団体となるため、令和7年度から赤字解消計画を策定し、保険料水準完全統一の令和11年度までに赤字を解消する必要がある。

４　令和６年度以降の国保運営上の課題

　　　今後も、被保険者の減少、所得の低下により国保税の減少が見込まれる一方で、1人当たり医療費の上昇に伴う事業費納付金の増加が予想され、本市としては大幅な国保税の引上げが必要となる。

しかし、大幅な税率改定を行うことで、特に所得のある中間層の負担が一層大きくなるほか、低所得層の世帯にとっては、昨今

の物価高騰などの影響により、支払い困難となる状況が危惧されるため、被保険者に対しては一定の配慮を行いつつも、赤字解消

に向け、段階的ではあるが、大きく引上げを実施することになる。

　　　また、基金についても令和6年度当初予算に計上の7,900万円を取り崩し、底をつくことになる。

５　本件に要する費用（赤字削減・解消計画について）

　　　国民健康保険特別会計にとっての財源は、国、県、市からの補助金、国保税によるところであるが、国保税の引上げのみでは限界があるため、下記のとおり、一般会計からの補助を受けつつ段階的な税率改定を図っていく。

　　　＜赤字補填目的の一般会計繰入額見込＞

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和7年度 | 令和８年度 | 令和９年度 | 令和１０年度 | 令和１１年度 | 合計 |
| 一般会計法定外繰入額 | 300,000千円 | 220,000千円 | 150,000千円 | 80,000千円 | ０円 | 750,000千円 |

　　　 ＜今後の税率改定見込＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 医療分 | 支援金分 | 介護分 | 調定額 |
| 所得割 | 均等割 | 平等割 | 所得割 | 均等割 | 平等割 | 所得割 | 均等割 | 平等割 |
| R6年度（現行） | 6.69％ | 26,200円 | 19,500円 | 2.67％ | 9,900円 | 6,900円 | 2.42％ | 11,600円 | 6,400円 | 1,521,886,300円 |
| R7年度 | 7.30％ | 27,000円 | 21,660円 | 2.87％ | 11,000円 | 7,939円 | 2.35％ | 11,709円 | 5,955円 | 1,677,935,649円 |
| R8年度 | 7.66％ | 27,000円 | 21,660円 | 2.87％ | 11,000円 | 7,939円 | 2.35％ | 11,709円 | 5,955円 | 1,707,072,195円 |
| R９年度 | 7.78％ | 32,493円 | 22,016円 | 2.87％ | 11,717円 | 7,939円 | 2.35％ | 11,709円 | 5,955円 | 1,778,512,767円 |
| R１０年度 | 8.00％ | 33,600円 | 25,000円 | 2.95％ | 12,000円 | 8,600円 | 2.35％ | 12,000円 | 6,400円 | 1,839,769,288円 |
| R１１年度 | 8.30％ | 35,000円 | 28,500円 | 3.80％ | 13,000円 | 9,700円 | 2.60％ | 13,500円 | 8,500円 | 1,994,758,092円 |

　　　※令和7年度以降の調定額は、現時点での試算であり、被保険者数や医療費の動向等により見直していく。